

立志

志をもち
自ら学び
ともに高め合い
逞しく生き抜く



令和5年6月2日(金)発行 校長 川崎 朗

「志」を立てて、勉強に部活動に向き合おう!

1 学期も折り返し地点を迎え、いよいよ仕上げに向かって取り組む時期となりました。

2 週間後には日頃の学習の成果をみる中間考査があります。また、7月に入るとすぐに部活動の成果をみる中体連夏期総合体育大会が控えています。テストや部活動の大会では、ただそこに臨むのではなく、まずは自分がそこでどうしたいのかという志を立てること(目標を持つこと)が大切です。さらには、志や目標を実現するために「自分は何をするのか」という具体的に行動することを決めて実際に行動することが重要になります。

「夢」と「志」は「自分がこうなりたい、こうしたい」などの思いを持つことで、同じような意味だと思います。しかし、私は夢と志には違いがあつて、それは、夢や志を叶えるための行動が伴うかどうかだと思っています。夢をみることは誰でもできますが、それを叶えるための行動がなければ、夢は夢のまま終わってしまいます。それを叶えるために、今、自分が何をするのかを決めて行動を始めた瞬間、「夢は志に変わる」のではないかと考えています。

もちろん行動したからといってそれがすべて叶うとは限りません。叶わないことも多いでしょう。ただ、確かなことは、行動しなければ叶うことは絶対にならないということです。

3 年生は今月に県立高校、私立高校の高校説明会があります。また、夏休みにある体験入学の案内も各高校から送られてきています。いよいよ卒業後の進路について本気で考える時期がやってきました。高校は生徒の皆さんが行きたいと思うだけで行けるわけではありません。そこに合格するための行動をしなければなりません。7月の中体連も同じです。「優勝したい」「県大会に出場したい」と思うだけで、そうなることは絶対にありません。大切なことは叶えるために何をするのかということです。自分の志を立て、それと正面から向き合うことです。「どうせできない」と思っているのはいつまでも実現できません。「どうすればできるか」「どうすれば志に近づくことができるのか」を考えて一歩ずつ行動してください。その行動そのものが皆さんにとっての大きな力になります。

1 学期後半。「立志」の時期です。生徒の皆さんの成長を大いに期待しています。

6月のおもな行事

- 2日(金)生徒総会に向けた学級討議 英語検定
- 8日(木)生徒総会
- 9日(金)私立高校説明会
- 13日(火)県立高校説明会
- 15日(木)前期中間考査①(給食なし)
- 16日(金)前期中間考査② 防災訓練(不審者対応)
- 26日(月)2年生職業講話
- 28日(水)中体連コンクール選手推戴式

前期中間考査に向けてがんばろう!

6月15日(木)・16日(金)に前期中間考査が実施されます。

1年生は初めてのテストですので、中学校での成績や各教科の評価・評定の出し方について簡単にお知らせをします。2・3年生の生徒や保護者の皆様もご確認ください。

1 成績2期制(通知表の出し方)について

白石町内では、学校生活全体としては3学期制をとっていますが、各教科などの成績については前期(4月から9月)、後期(10月から3月)の2期制をとっています。通知表についても各教科の評価や評定、学校生活の状況等をまとめたものを前期分として10月中旬に、年間を通じた評価を3月末にお渡しすることになっています。

2 評価・評定の基本的な考え方について

各教科の成績については、それぞれの国が定める学習指導要領に基づいて各教科で3観点を定め、それぞれをA~Cの3段階(小学校の◎、○、△と同様)で評価をします。小学校ではここまでですが、中学校では三つの観点別評価を総括して5~1の5段階で数値による評定を出します。ですから、評定についてはテストの成績だけでなく、日頃の授業のようす、課題や提出物、作品の状況などをすべて総合的に評価をして評定として出します。テストはすごくいいのに、評定として5にならないのはなぜという質問を受けることもあります。授業での取り組みや提出物、作品などに原因があることもあります。

3 中学校における定期考査

先ほど述べたとおり成績はテストだけで出すわけではありません。しかし、1年間で学校全体で定期的に行われる定期考査、各教科で随時行われるさまざまなテストも生徒の「知識・理解」や「思考力・判断力・表現力」の状況を図るために重要な役割を果たしていることは間違いはありません。本校では、年間に5回の定期考査を行っています。6月の前期中間考査、9月の前期期末考査、11月の1・2年後期中間考査、3年学年末考査、2月の1・2年学年末考査の5回です。定期考査の前は原則として部活動も中止にしてテストに臨みます。

4 定期考査に向けて今日から取り組みを!

定期考査は、ある程度のまとまった範囲で問題が作成されます。今回の前期中間考査は4月からテストまでに学習した内容から出題されます。ですから、学習したことを振り返って復習することが重要です。家庭学習の時間を確保してテスト勉強に充ててください。特に、4月の学習内容は忘れている人も多いでしょう。教科書やノートを見直し、問題を解き直し、忘れているところや分からないところは教科の先生や友だちに質問して確認をしましょう。分からないことは何も問題ではありません。分からないことをそのままにしておくことが問題なのです。また、定期考査は、学校で問題が作成されますので、それぞれの教科担当の先生が授業でされたことからしか問題はできません。テスト勉強で一番大切なことは授業を大切にすることです。今週末か来週にはテスト範囲表が配布され、テスト計画を立てて取り組み始めます。「継続は力なり」です。少しずつでも続けることが大きな力になります。明日からではなく、今日から自分にやる気スイッチを入れてがんばりましょう!